

JBS グループオフィス

2015年10月に設立25周年を迎える日本ビジネスシステムズ（JBS）は、業界トップレベルのソリューションプロバイダーとしての成長を経営ビジョンとして掲げ、業務の効率化、意思決定スピードの向上、顧客やパートナーとのコミュニケーションの強化を図るため、昨年8月虎ノ門ビルズに本社オフィスを移転した。

オフィスのコンセプトは人が集う場所であり、人のふれあいから情報が集まり、互いにアイデアを共有し、価値を創出する場と位置付けている。

オフィスはICTを活用した新たなマネジメントと

人が集い情報交流を促進 グループ間業務も効率化

ワークスタイルを積極的に推進する知的生産の場となっている。機能別フリーアドレスでグループ会社間の情報共有と業務効率化を促進しており、フリーアドレスでも社員のいる場所が分かるIRUCA（イルカ）というシステムが導入されている。

企業内ソーシャルネット

オフィスツアアが積極的に行われている。

コラボレーションエリアも潤沢である。部門間には立ったまま気軽にミーティングできるスタンド型テーブルやディスプレイ常設のテーブルが設置されている。社内会議室には壁面ホワイトボードやディスプレイおよびカメラが設置されており、透明ガラスで広がりや一体感を感じることができる。来客フロア内にオフィスを下下につなぐ内階段が設置され動線を確認している。

カフェテリアも充実している。モーニング・ランチ・カフェ・ダイニングと4つのシーンに対応し、社外の人も使えるため、交流会や情報共有の場としても大いに活用されている。

セキュリティコントロールでは、4段階のオフィスセキュリティを通じて安全なモバイルワークを実現しており、最高レベルの保守センターには許可された社員のみアクセスが可能である。



カフェテリアのランチ風景、夜は社内外交流の場に変身



予約なしで利用できる
コラボレーションエリア

〈クリエイティブ・
オフィス賞〉